

大和川(国管理区間)における河川事業 の整備状況

令和6年1月31日
大和川河川事務所



すみずみで守る、
を主流に。

どこよりもつよい流域治水をともに

※資料中の事業内容やデータについては現時点のものであるため今後変更になる場合がございます。

(計画策定者) 近畿地方整備局長、奈良県知事、大和川特定都市河川流域25市町村長
 (計画の目標) ・流域全体では、昭和57年8月降雨に対し、大和川・佐保川の堤防決壊による壊滅的な被害の解消、一部支川氾濫や内水による浸水が想定される区域においても住民の安全確保
 ・重点地区では、概ね100年に1回の確率で発生しうる規模の降雨に対し、内水による浸水被害を解消
 ・想定し得る最大規模までのあらゆる水害リスクを可能な限り想定し、人命を守り、経済被害の軽減に取り組む
 (計画の期間) 概ね20年

特定都市河川流域図

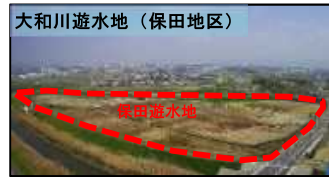


①氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策

<河川区域における対策>

○河川整備

河道改修や遊水地等の整備



○既存ダムの洪水調節機能強化

既存ダム(初瀬ダム、天理ダム、白川ダム、岩井川ダム、大門ダム)における事前放流の実施

<集水域における対策>

○下水道整備

- 雨水管渠整備、既設ポンプ施設の維持・更新
- 内水ポンプ施設の運転操作ルール策定



○流域対策

- 既存ため池の放流口の改修や事前放流によりため池の水位を下げ雨水を一時的に貯留させる等、ため池の治水利用を推進
- 水田の排水口に調整板を設置し、排水量を調整する水田貯留を推進
- 浸水常襲地区等の課題である内水浸水被害の解消に向け、『奈良県平成緊急内水対策事業』による雨水貯留施設等の整備を推進
- 民間事業者等による雨水貯留浸透施設の整備も見込んだ今後5年間の目標対策量を新たに上乗せし、対策を一層推進



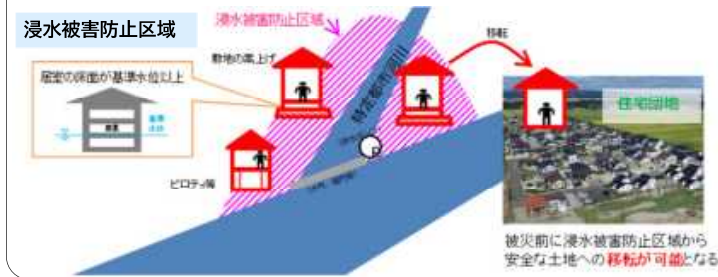
②被害対象を減少させるための対策

○貯留機能保全区域の指定

- 都市浸水想定区域や条例で指定する『市街化編入抑制区域』等を考慮した上で区域の指定を検討
- 先行して大和郡山市や川西町、田原本町などで区域の指定を検討

○浸水被害防止区域の指定

- 都市浸水想定区域及び水害リスクマップ、『市街化編入抑制区域』等を考慮した上で区域の指定を検討
- 先行して川西町、田原本町などで区域の指定を検討



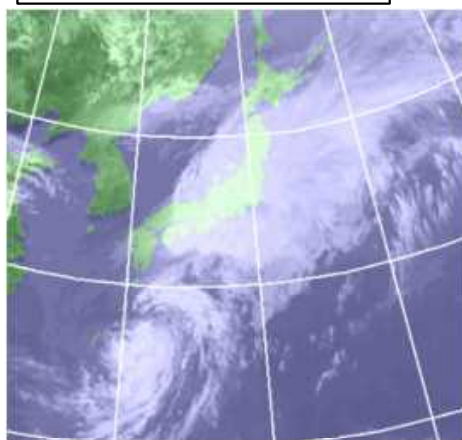
③被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

- 減災対策協議会等による関係機関との連携強化や市町村等とのホットラインによる河川情報の共有
- 洪水ハザードマップや内水ハザードマップの作成・周知、住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進
- 小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難訓練の徹底

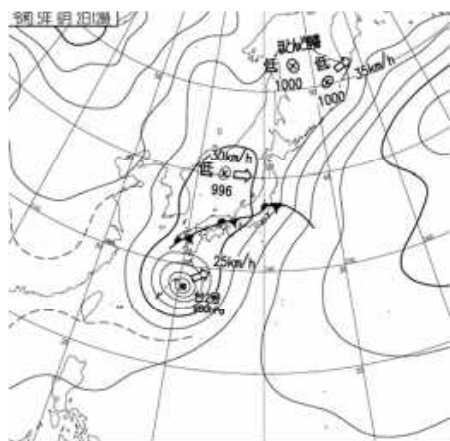


- 6月1日の夜頃から、台風2号から梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり大和川流域においても、線状降水帯が発生した。
- 大和川流域では、最大1時間降水量は20mm～37mmの激しい雨が降り、柏原上流流域平均累加雨量で189.0mmに達した。

気象衛星(2日12時 時点)

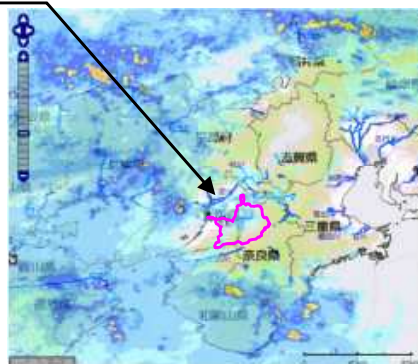


天気図(2日12時 時点)

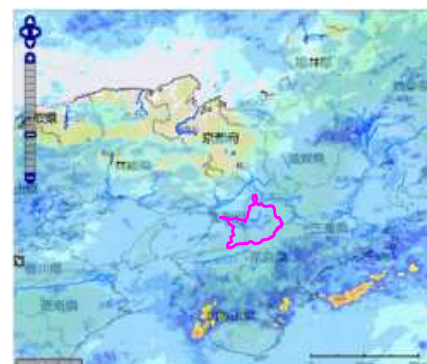


雨雲レーダー

大和川流域



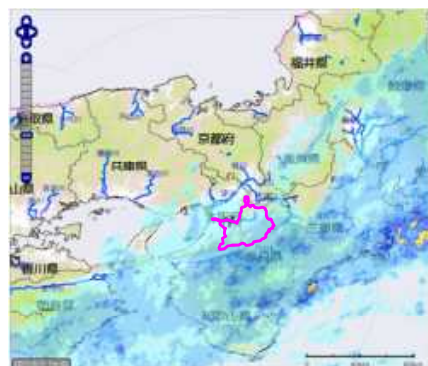
2023年6月1日 21:00



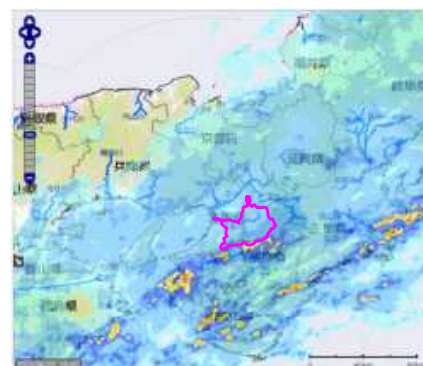
2023年6月2日 3:00



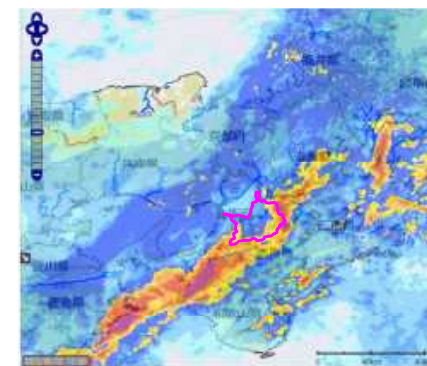
2023年6月2日 9:00



2023年6月2日 24:00



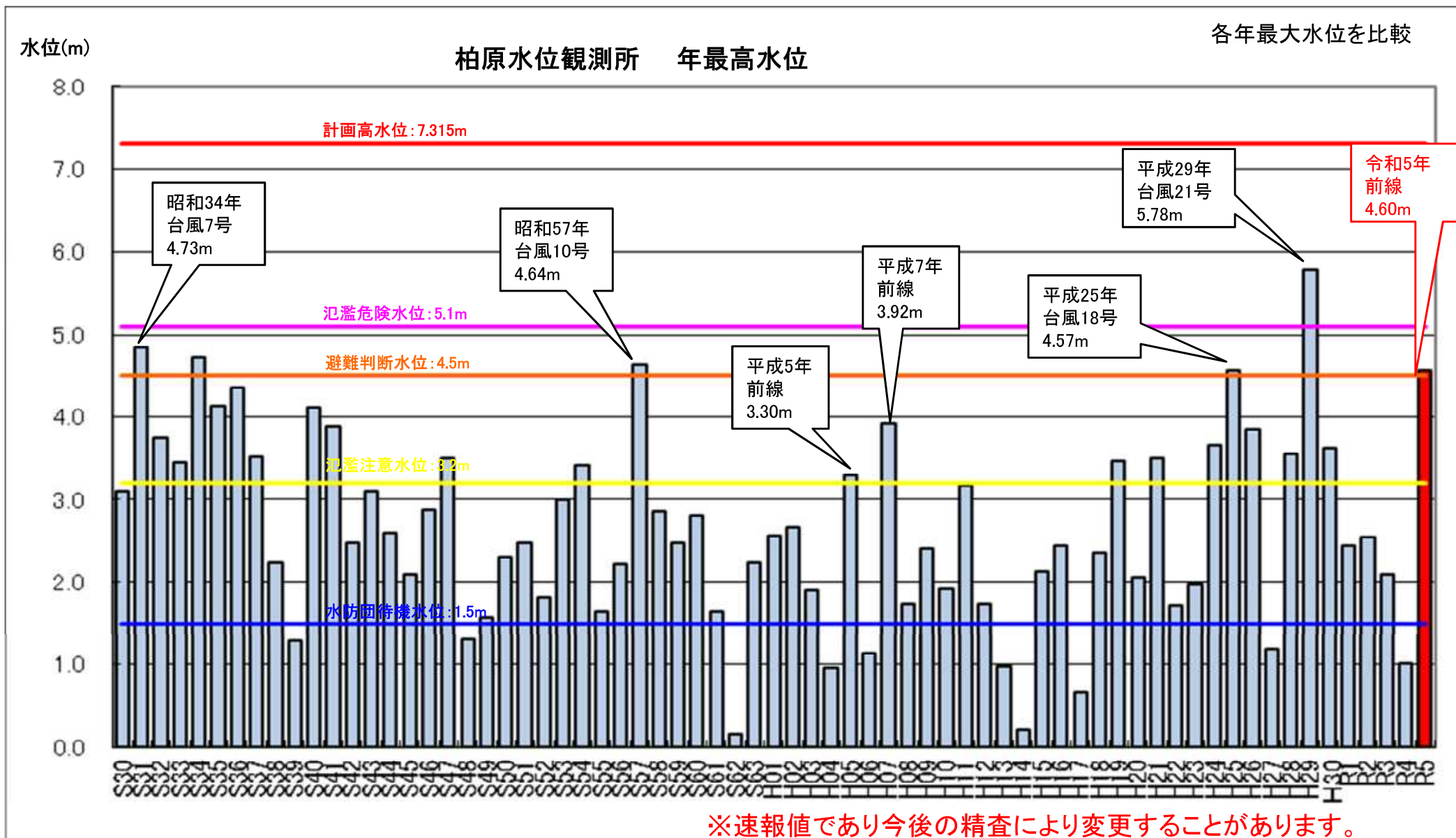
2023年6月2日 18:00



2023年6月2日 12:00

※速報値であり今後の精査により変更することがあります。

○柏原水位観測所では、避難判断水位（4.50m）を上回る4.60mの水位を記録
 (流域平均降雨量：最大1時間降水量約17.8mm/h 6/2 11:00)



○大和川下流 (大阪府側)

堺市 遠里小野15時撮影



柏原市 柏原水位観測所 16時撮影



柏原市 国分市場15時撮影



○大和川上流 (奈良県側)

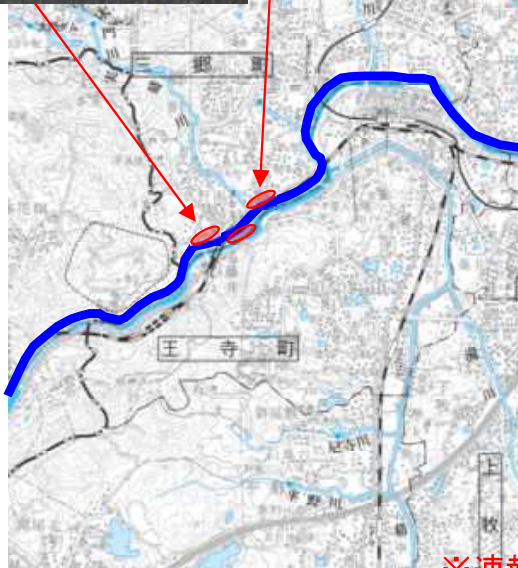
三郷町 15時撮影



三郷町 15時撮影



斑鳩町 三代川樋門 15時30分撮影



安堵町 岡崎川樋門 14時30分撮影



安堵町 岡崎川樋門 15時30分撮影

安堵町 遊水地工事箇所 15時30分撮影



安堵町 下窪田地区 15時30分撮影

※速報値であり今後の精査により変更することがあります。

- 大和川では藤井上流で計画高水位を超過し、前線にわたり避難判断水位を超過
- 三郷町では大和川水位が堤防整備中の区間で溢水し、JR大和路線軌道敷が浸水

大和川25.4k大正橋



大和川26.2k三郷駅上流



大和川26.2k三郷駅上流



大和川29.2k昭和橋



大和川30.8k JR第一大和川橋梁



大和川36.0k 佐保川合流点



- 大和川では水位上昇に伴い、内水への逆流を防止するため樋門を閉鎖
- 内水域では浸水被害が発生

斑鳩町三代川付近



斑鳩町三代川付近



川西町吐田付近



安堵町窪田付近



安堵町窪田付近



川西町吐田付近



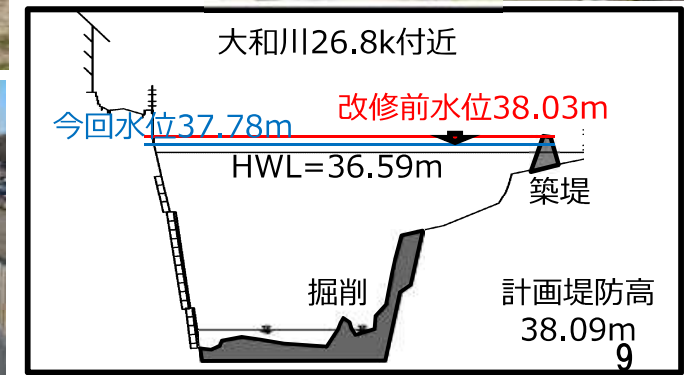
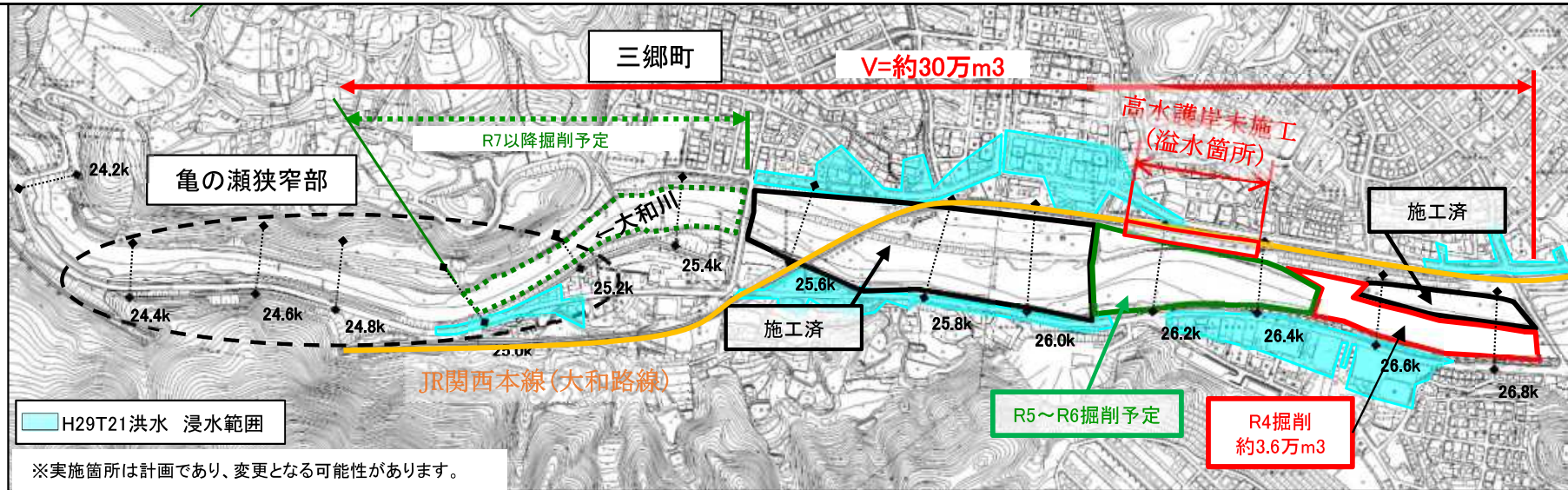
・大和川水系河川整備計画（国管理区間）に基づき、大和川（奈良県域）及び佐保川にて、河川改修、遊水地整備等を引き続き推進。

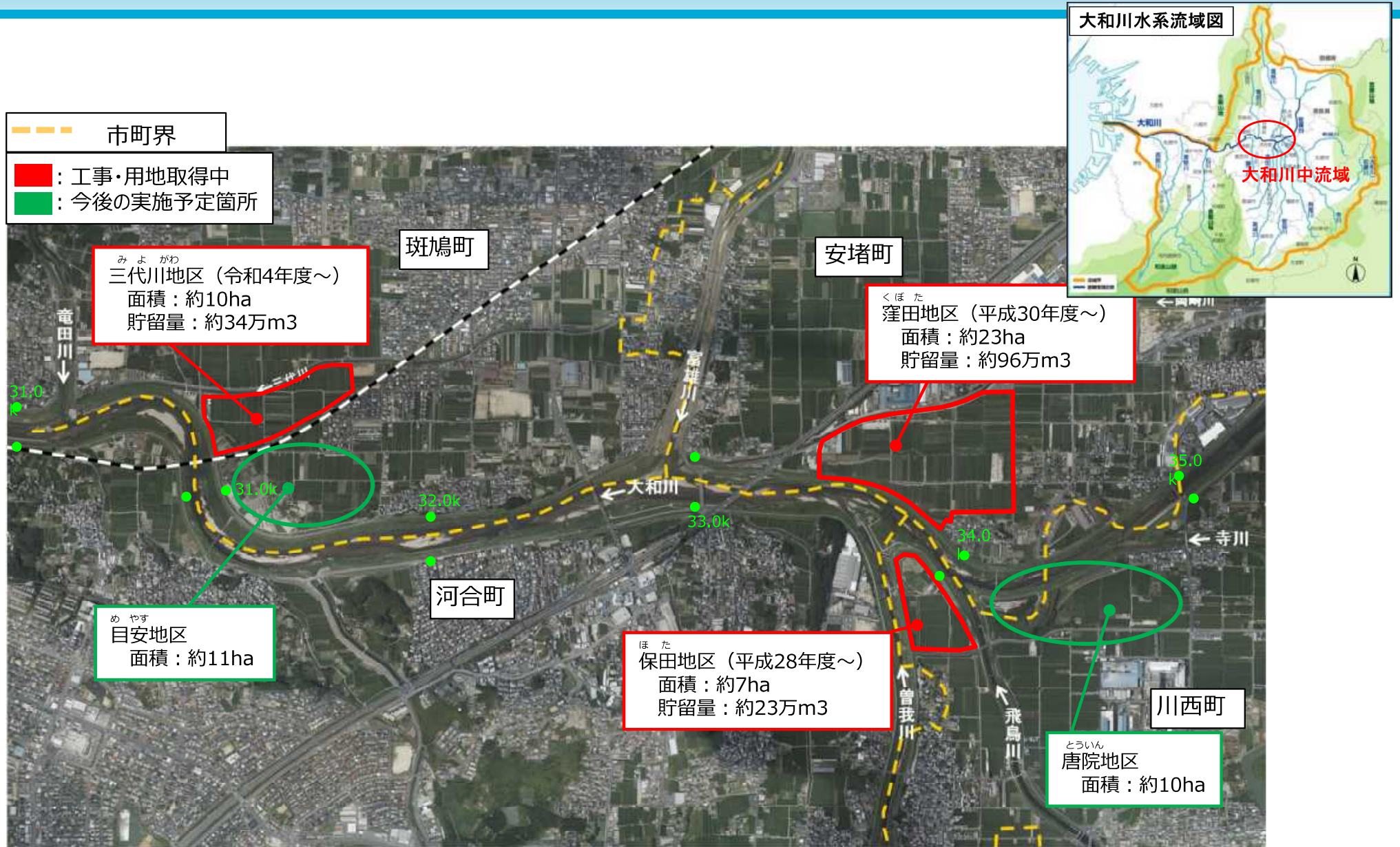
河川	区間	整備概要	進捗
大和川	藤井地区	掘削	実施中
	藤井地区（左岸）	築堤	未
	三郷地区（右岸）	築堤	実施中
	王寺地区	掘削	未
	保田地区、窪田地区 三代川地区、目安地区、唐院地区	遊水地整備	実施中
佐保川	長安寺～西九条地区	掘削	未
	長安寺井堰	堰改築	完了
	番条、番条北地区	築堤、合流点処理	未
	城井井堰	堰改築	未
	番条北井堰	堰改築	未
	稗田地区、下三橋地区	引堤	未
	大川井堰	堰改築	未

■ : 工事・用地取得中
■ : 今後の実施箇所
↕ : 国管理区間

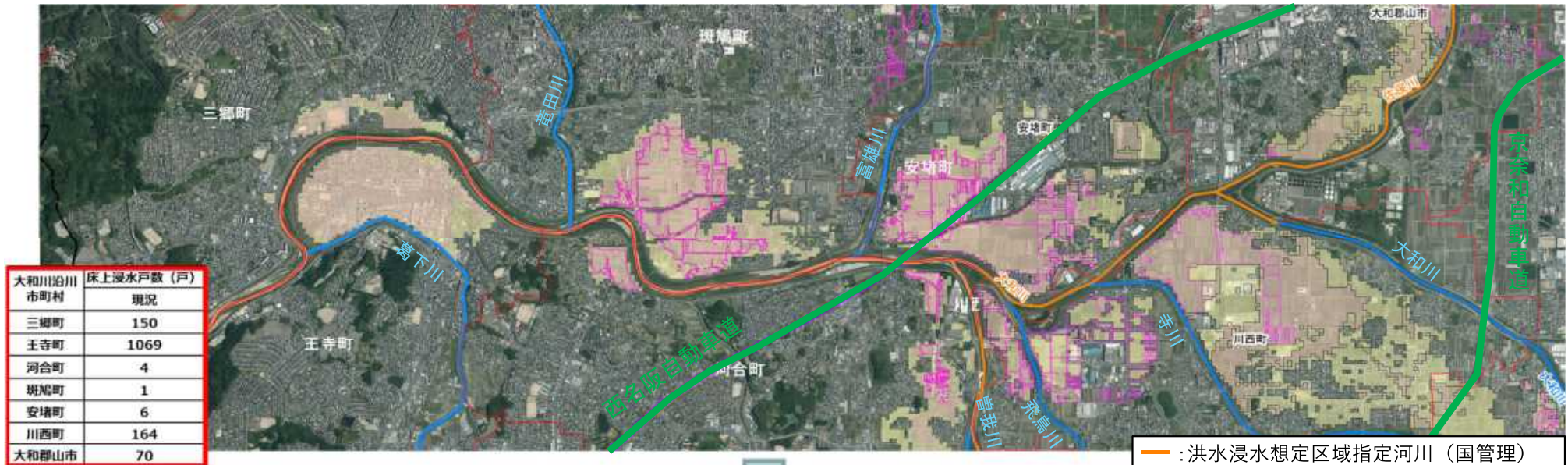


- 大和川水系では、藤井地区～王寺地区の流下能力向上のため平成30年度から河道掘削工事等（約30万 m^3 ）を実施中。
- 令和5年6月梅雨前線による大雨では、平成30年以降、3か年緊急対策等を活用して実施した河道掘削（14万 m^3 ）により、大和川中流の藤井地点周辺(河口から27.0km地点)において、約0.3mの水位低下効果が発現。
- 今後継続して掘削及び堤防が整備されることで、JRの浸水被害を解消し、鉄道運休を回避できる見込み。

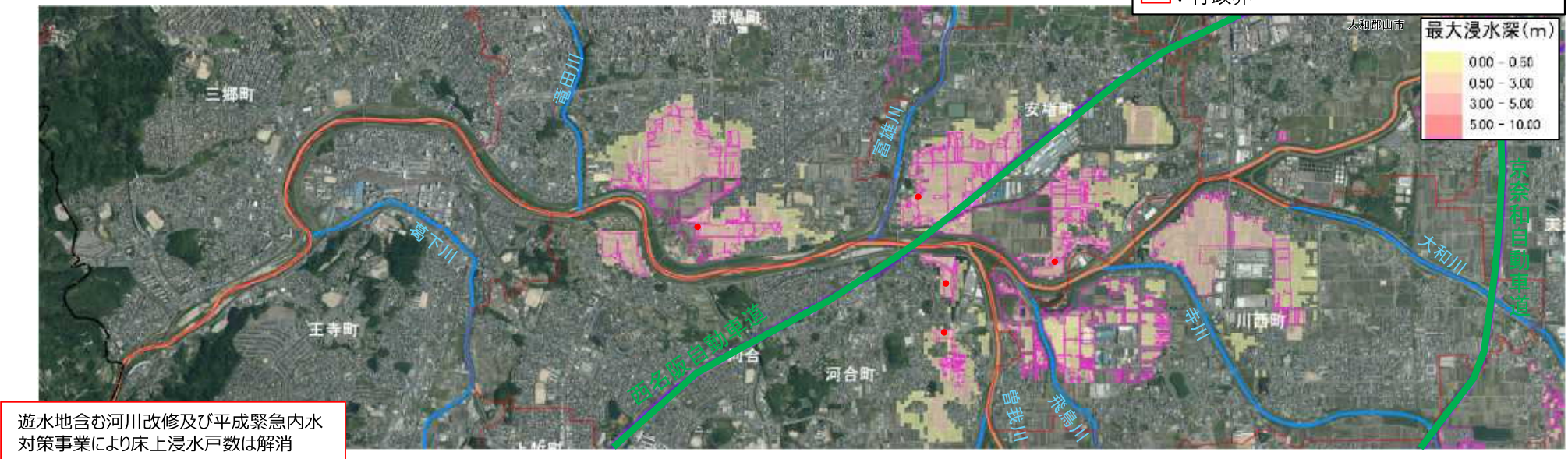




整備前の都市浸水想定（大和川沿川）



ハード整備実施後の都市浸水想定（大和川沿川）



整備前の都市浸水想定 (大和川下流区間)



整備前は、昭和57年洪水同様に市街地が浸水

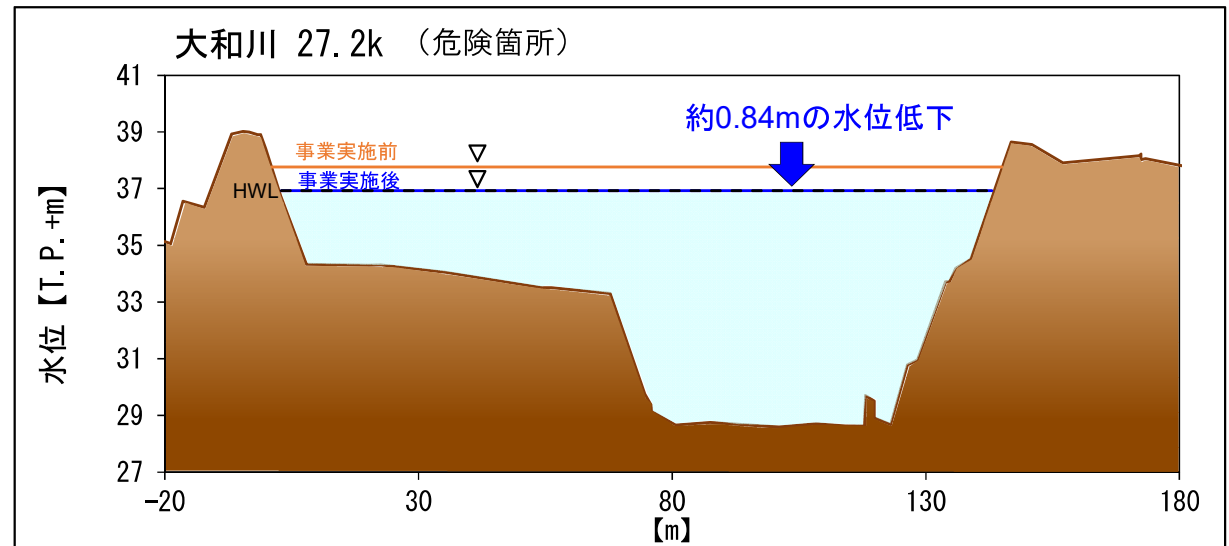


整備後は、市街地の浸水を解消

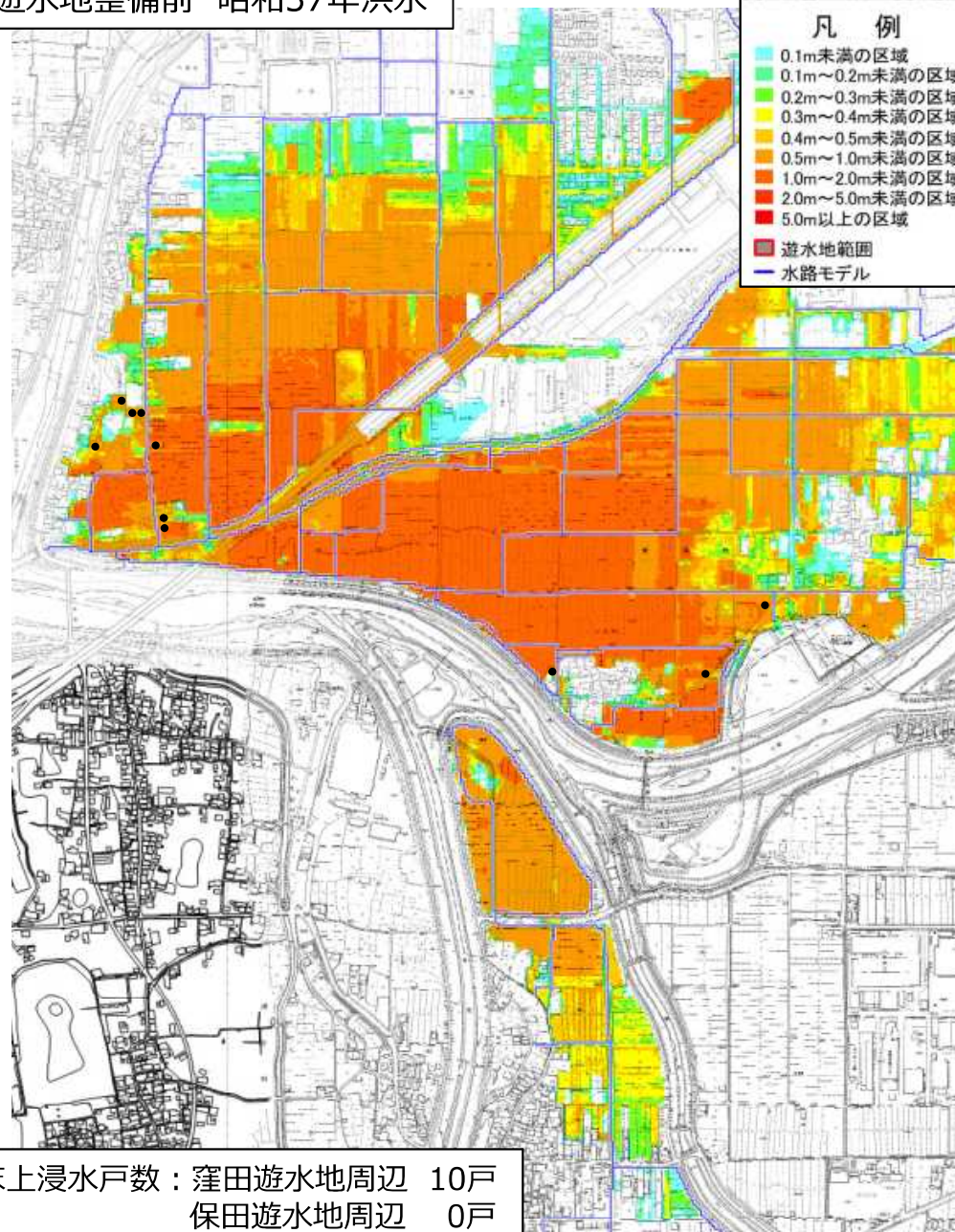


- ・現状では、大和川本川でHWLを超過し堤防が決壊した場合、王寺駅を含む市街化区域が浸水し、1000戸を超える浸水被害が発生するが、現在進めている立野・藤井地区の河道掘削及び大和川遊水地整備により、大和川の水位が約0.8m低下することで、計画高水位を下回るため、堤防の決壊を回避し、王寺駅周辺の浸水被害を解消します。

ハード整備実施後の都市浸水想定 (大和川下流区間)

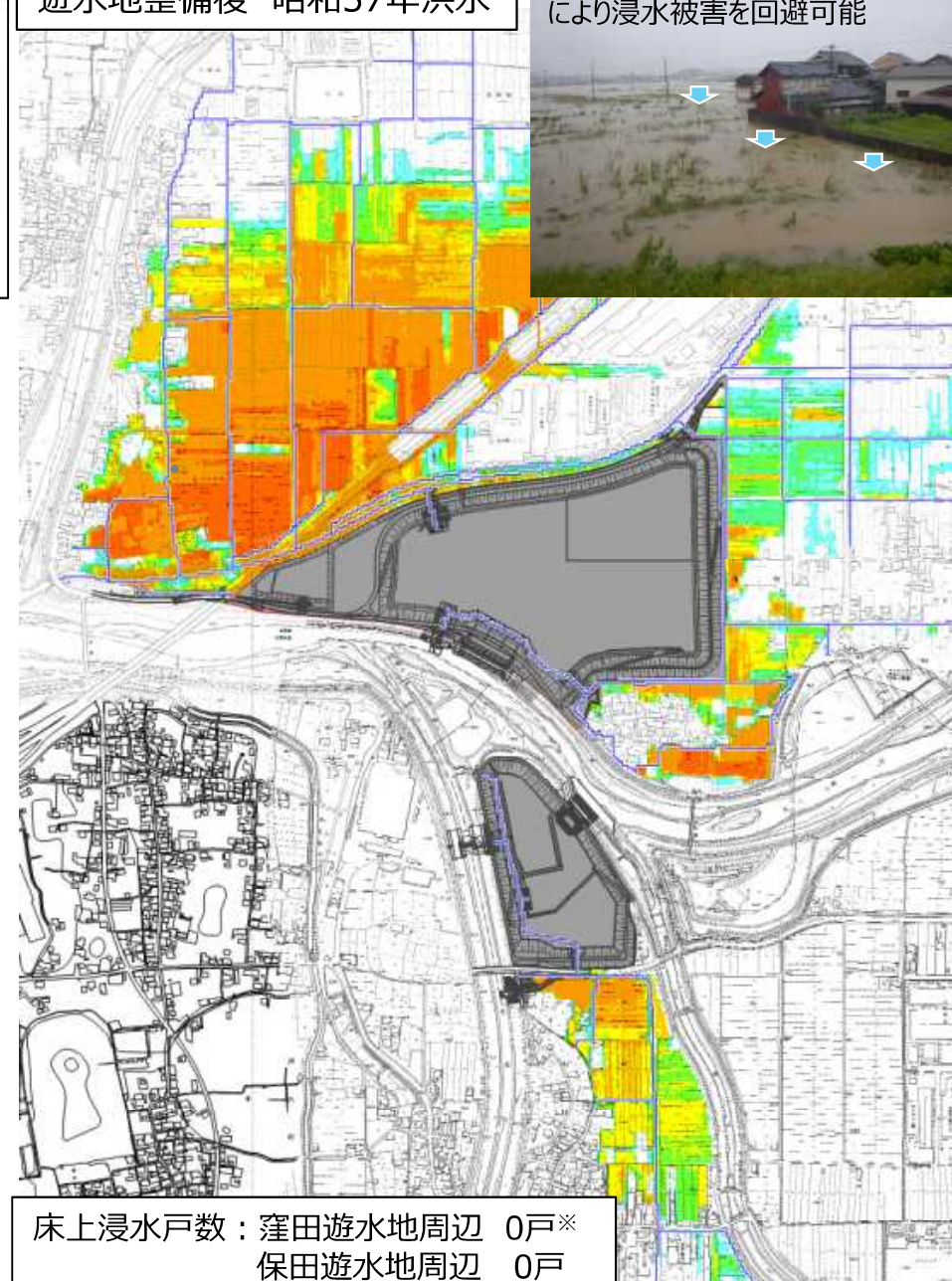


遊水地整備前 昭和57年洪水



床上浸水戸数：窪田遊水地周辺 10戸
保田遊水地周辺 0戸

遊水地整備後 昭和57年洪水



床上浸水戸数：窪田遊水地周辺 0戸※
保田遊水地周辺 0戸



※窪田地区1件は別途対策必要

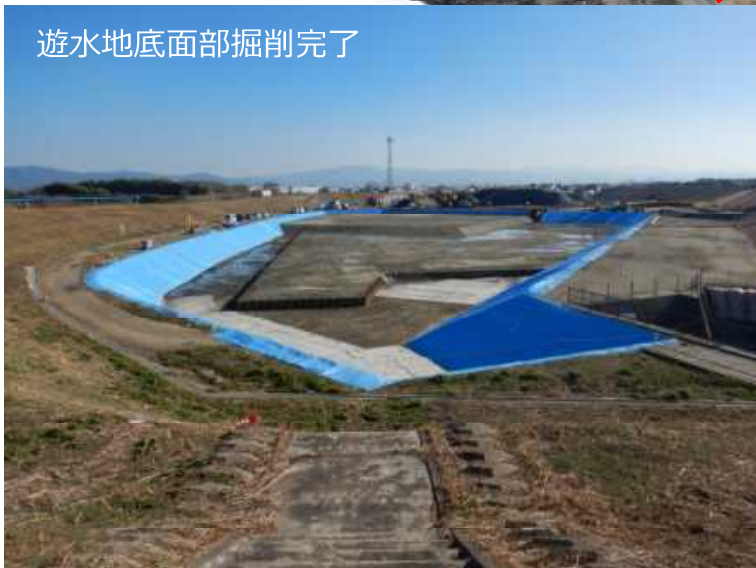
【整備状況(R6.1月末時点)】

- ・周囲堤 : [680m完成、60m工事中] / 全長740m
- ・囲ぎょう堤 : 全長300m (完成)
- ・越流堤 : 全長100m (未施工)
- ・樋門 : [2基完成、1基工事中] / 3基
- ・保田川水路工 : 0m / 全長1,150m
- ・遊水地内掘削 : 約48,000m³ / 54,000m³
- ・コンクリート張工 : 0m² / 約35,000m²

完成予想図



遊水地底面部掘削完了





【整備状況(R6.1月末時点)】

- ・周囲堤 : 約50m完成 / 全長1,400m
- ・囲ぎよう堤 : 全長180m (未施工)
- ・越流堤 : 全長80m (未施工)
- ・樋門 : [1基 工事中、3基 (未施工)] / 4基
- ・水路工 : [320m工事中、780m(未施工)] / 全長1,100m
- ・遊水地内掘削 : 約60,000m³ / 310,000m³
- ・コンクリート張工 : 約120,000m² (未施工)
- ・河川防災ステーション : 未施工

